

令和5年 8月吉日

各位

日本学校図書館学会
会長 吉富 芳正

令和5年度 第26回 日本学校図書館学会 研究発表大会のご案内

ようやく朝晩と暑さが和らいでまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、令和5年度日本学校図書館学会研究発表大会における研究発表は、対面による実施をしながら、同時にオンラインによるライブ配信も行います。ご多用のこととは存じますが、ぜひご参加いただけますようご案内いたします。

記

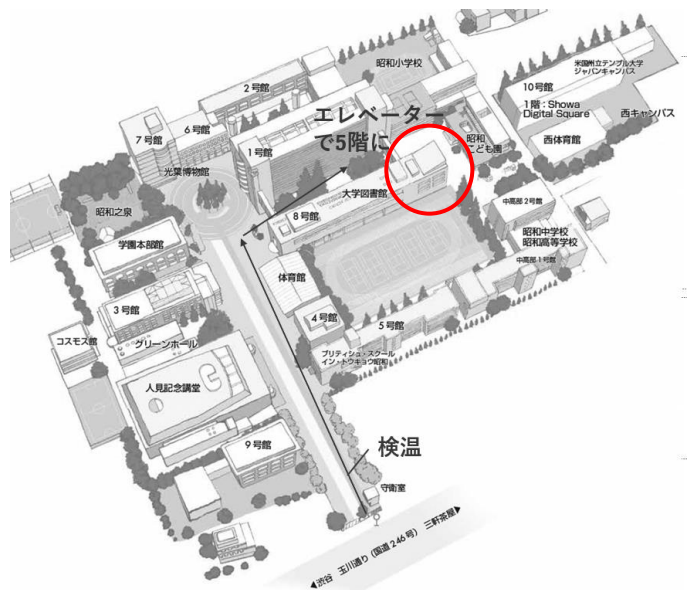
- 1 日時 令和5年9月16日(土) 9:30~16:20
- 2 主催 日本学校図書館学会
- 3 会場 昭和女子大学8号館西棟5階5L44(世田谷区太子堂1-7)
東急田園都市線三軒茶屋駅 徒歩10分
オンライン Zoom ウェビナーによるライブ配信も実施
- 4 参加費 学会員は無料・学会員でない方は500円



- 5 大会参加方法 「研究発表大会参加者ポリシー」にご賛同いただくとともに、本学会ホームページからリンクを張ったサイト <https://jssls.peatix.com> または、左記の QR コードから、「研究発表大会参加申し込み」フォームに必要事項を入力する。会場にて対面参加希望の方は完全予約制とし定員に達した場合は締め切りとする。オンライン参加希望も申し込みサイトは同じ。参加申込締め切りは大会前日9月15日(金)。同日に Zoom 番号をメールでお知らせする。対面参加をオンライン参加に切り替える場合の連絡は不要。



- ① 入力方法: 9/16 研究発表大会 → チケットを申し込む
→ チケット選択で、入場券(対面参加)またはオンライン参加を選んで+で参加者数を入力
→ メールアドレスと所属の入力
→ Facebook, Google ユーザーでない方はメールアドレスとパスワードでもログイン可能 → 全角カタカナで実名を入力、表示名はニックネームでなく実名にする
→ チケットを申し込む
→ チケットの確認方法が iPhone, Android であればそれを、そうでない人は「ブラウザでチケットを表示する」とする → チケット表示で QR コードが表示されれば登録できている



→ メールで登録完了のお知らせが届く

- ② 対面大会参加方法: 昭和女子大学正門で検温後、会場にて手指消毒と受付。事前にスマホで Peatix にログインして入場用の QR コードを表示するとスムーズに入れる。名簿照会による受付も可能。
- ③ オンライン大会参加方法: 大会前に「イベントに参加」としても「無効なミーティング ID」と表示される。大会前日にメールで参加方法に関するお知らせが届く。届いたお知らせの URL を選ぶと自動的にオンライン会議システム Zoom ウェビナーに移動する。あらかじめ Zoom をダウンロードしておくことによりスムーズに繋ぐことができる。

6 参加に当たっての留意事項

- (1) 参加申込者は、本学会の会員でなくてもよい。
- (2) 参加者は、会場に対面、または各自のパソコンなどを用いてオンライン会議システム Zoom によって視聴する。
- (3) オンライン会議システムに入るために必要なミーティング ID とパスワードは、大会前日の 9 月 15 日に申込者にメールで知らせる。
- (4) 「研究発表要旨集」は電子版で発行し、本学会のホームページからダウンロードできるようにする。発表書が当日発表用資料を紙で用意した場合は、オンライン参加者には配布しない。データで用意した場合はチャット機能で添付するが、iPad で視聴している場合はダウンロードできない。

7 研究発表大会参加者ポリシー

【個人情報について】

- (1) 個人情報の収集に当たっては、利用目的を明示した上で必要な範囲の情報を収集し、利用目的を公表し、その範囲内で利用します。
- (2) ご提供いただいた個人情報は、本学会のプライバシーポリシーに従い管理します。ただし、参加申込者へのサービス向上のため業務を委託する委託先に提供者自身により公開される個人情報については委託先の個人情報保護方針に従うものとし、本学会の管理の対象外とします。

【著作権について】

- (1) 本大会が提供する情報に関する著作権その他の知的財産権は当学会又は当該情報の提供者に帰属します。
- (2) 参加者は、本オンライン実験教室が提供する情報を、当学会又は当該情報について権利を有する者の事前の承諾なしに、自ら又は第三者を通じて転載、複製、出版、放送、公衆送信その他知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

【カメラ、マイク、チャット等について】

- (1) Zoom ウェビナーは通常の Zoom と異なり発表者以外の画像と音声は流れません。
- (2) 本大会の様子は記録としてビデオ記録を当学会で保持します。会報などで使用する場合はあらかじめご本人の了承を得ます。参観者によるスクリーンショット等の無断チャプター、映像や音声の SNS 等への拡散は禁止とします。
- (3) チャットは使用可能ですが、書き込む際には実名も記載してください。Q&A も使用可能ですが全てのご質問にお答えできないことがある点、ご了承ください。

令和5年度日本学校図書館学会研究発表大会プログラム

9月16日(土) 対面とオンラインライブ併用方式

全体司会 事務局長 栗林 昭彦

9:30 開会あいさつ 日本学校図書館学会会長 吉富 芳正

第I部 一般研究発表【司会】研究委員会 保刈 栄紀

	時 間	研究主題、発表者氏名【所属(職)】 (共同研究者)
1	9:40-10:05	文脈性に着目した情報資源としての「タイトル/背表紙」情報の活用可能性 ～オリエンテーションにおけるブラウジングと五行歌を組み合わせた連携実践から～ 【渡邊裕・村上恭子(東京学芸大学附属世田谷中学校教諭・同学校図書館司書)】
2	10:10-10:35	学校図書館活用に関する教職大学院生の考えの変容 —カリキュラムデザインの授業を通して— 【原口るみ(東京学芸大学准教授)】
3	10:40-11:05	読書活動で人間力を高める英語読書学習の探究 【鬼丸晴美(学校法人大阪医科薬科大学 高槻中学校高槻高等学校教諭)】
4	11:10-11:35	学校図書館の情報公開に関する一考察 【橋本あかり(桃山学院大学経営学研究科博士後期課程学生)】
5	11:40-12:05	独自開発 Moodle プラグインによる英語多読促進と図書館利用の拡大～図書館・授 業・ICTの三位一体のアプローチ～ 【ハワード佳奈・廣瀬誠(松江工業高等専門学校人文科学科講師・同高等専門学校情報 工学科准教授)】

12:05-13:20 昼休み

第II部 課題研究発表【司会】研究委員会 庭井 史絵

「学校図書館の理念の継承とこれからの教育—学校図書館法制定70周年に寄せて」

13:20-13:40 課題趣旨説明 副会長 鎌田 和宏

6	13:50-14:15	学校図書館利活用への道づくり—鈴木嘉弘氏の活動を中心に— 【鈴木守・土井幸弘(常葉大学教授・同非常勤講師)】
7	14:20-14:45	新潟市学校図書館支援センターの設置経緯に関する一考察—なぜ市の独自事業と して設置されたのか— 【斎藤直人(新潟市立下山小学校司書)】
8	14:50-15:15	Google Workspace for Education を活用した学校図書館の実践と課題 【吉田稜(東村山市立東村山第一中学校学校図書館専任司書・国士舘大学 大学院 法学研究科 博士課程研究生)】

15:15-15:30 休憩

15:30-16:10 総括討論とまとめ

16:10 閉会あいさつ 日本学校図書館学会副会長 石塚 等

16:20 閉会